

わかば園だより

平成 27 年 10 月 30 日発行

社会福祉法人緑樹福祉わかば園

電話：0791-45-2240

Fax：0791-56-9000

e-mail：wakaba@ivy.ocn.ne.jp

三村氏が新理事長に 就任あいさつ

この度、長谷部隆司理事長の後任として、社会福祉法人緑樹福祉会理事長に就任いたしました。

当法人の前身は、「赤穂市手をつなぐ育成会」が運営しておりました法外施設の「小規模作業所わかば」です。10年前に法内施設にするべく、プロジェクトチームが立ち上がり、3年の長きにわたり月1度会議を重ね社会福祉法人として認可をいただく事ができました。当事者団体である「手をつなぐ育成会」が社会福祉法人格をいただく事は珍しく、事務局（赤穂市社会福祉課 障がい福祉係）からも多くの力添えをいただきました。

社会福祉法人としてスタートを切って早いもので7年の月日が過ぎ去りました。今後3年を目標に、ますます組織体制の充実をはかり、利用者及び保護者の皆さまのご要望にお応えする事ができるように微力をつくす決意でございます。

これまでの理念を継承しつつ、赤穂市の障がい福祉向上に貢献することができるよう事業を進めてまいります。また、当法人の特色である当事者が運営に参画している意義を問い直し職員、保護者が利用者の為に同じ方向に向かい、当法人のあるべき姿を形成していければと考えております。

相談事業所をはじめ、利用者生活圏内の福祉事業所との連携を呼びかけ、協力を積極的に進めてまいります。支援者のストレスを負の影響として受けてしまう利用者の為、職員と共に働きやすい職場づくりの努力を惜しみません。

今後とも皆様のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



三村佳壽子

市役所ロビーで販売活動

毎週水曜日に市内の事業所が持ち回りで、販売活動を行っています。わかば園でも就労班は野菜・さきいかを、生活班は点字新聞で作った封筒を販売しています。

利用者さんが「ジャガイモはいかがですか」と呼び込みをしたり、商品と釣銭を渡しながらか、「ありがとうございます」とお礼を言うなど、地域の方々と交流する場となっています。

9月30日の販売は、農園の採れたてのサツマイモが人気でした。10月以降も水曜日が販売日です。市の広報で販売日の紹介がされます。



バス旅行で伊丹空港へ 10月2日(金)

秋の日帰りバス旅行で、インスタントラーメン発明記念館と伊丹空港に行ってきました。

マイカップヌードル作りに楽しく挑戦しました。日付と名前を書き、好きな絵を描いたり、文字に好みの色を塗ったり、特に好きな具材を8種から4種を選んで、私だけのヌードルが出来ました。エアパッケージに空気を入れ、赤の紐をして、首にかけて、よいお土産になりました。



野菜が完売！

西播磨障害者授産施設・小規模作業所連絡協議会（ウィズ in 西はりま）のイオン赤穂店の共同販売が、10月14・15日同店1階催し会場でありました。西播磨の8事業所が出店しました。

わかば園は、さきスルメ、野菜、封筒を販売しました。農園で栽培したサツマイモは好評で完売でした。

他の事業所は、花苗、クッキー、ラスク、さをり織り製品等を販売していました。

「焼き芋」にしたいから、もう少し細い芋の方がいいのにネ・・・などの声も聞かれました。お客様のニーズに合わせた商品にする重要性を教わりました。

生活介護で製作した封筒は、お布施を包む封筒としての利用を考えられたお客様に購入して頂きました。



イオン店内での販売

就労継続 B の活動

就労では、園外実習として関西福祉大学校友会館内の喫茶「ライム」、城南中央体育館内の喫茶「ラン」で、喫茶業務にあたっています。

アース製薬赤穂工場内での製品の解体作業、株式会社ポケット委託のファンシーグッズの袋詰め作業をしています。



喫茶「ライム」での業務



アース製薬での作業



ファンシーグッズの袋詰め

生活介護の活動

「体を動かそう！」をスローガンに活動中城南緑地公園や東浜公園等に出向き持参したフリスビー・ボールや遊具で楽しみながら運動しています。園内では、音楽に合わせてバランスボール使った運動・ダンスもしています。音楽で体を動かす活動は皆さんの大好きな時間です。



毎朝のラジオ体操

こんな作業しています！

点字新聞紙の再利用として封筒作りをしています。また、ファンシーグッズの袋詰め等を、個数や時間を決めて、利用者にあった方法で作業しています。



点字新聞を利用した封筒作り